

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年8月19日(木)13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官
加藤原子力規制専門員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他8名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料4-2について）

- ・南東地区からPCDF管理棟駐車場へのアクセスルートについては、地震時に想定される被害状況の評価を踏まえた訓練を確実に実施し、実効性を高めていくとともに、より確実なアクセスルートについても引き続き検討を継続すること

（資料8について）

- ・これまでの東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請において保安規定に反映するとした事項について、安全対策工事の進捗や資機材の配備計画を踏まえた今後の保安規定変更認可申請に係る計画表を整理し、申請漏れのないよう確実に管理すること。

（資料9について）

- ・8月17日から実施しているガラス固化処理について、流下ノズルの加熱状況や流下速度について、過去の運転実績のデータと比較した結果を説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

- 資料1 東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて
- 資料2-1 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の火災防護対策の検討状況について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）

- 資料 2 - 2 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の火災防護対策の検討状況について（火災防護に係る代替策の有効性評価）
- 資料 3 - 1 ガラス固化技術開発施設（TVF）の内部溢水対策に係る設備の設置について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）
- 資料 3 - 2 高放射性廃液貯蔵場（HAW）の内部溢水対策に係る設備の設置について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）
- 資料 4 - 1 プルトニウム転換技術開発施設（PCDF）管理棟駐車場における事故対処設備の設置工事（再処理施設に関する設計及び工事の計画）
- 資料 4 - 2 南東地区からプルトニウム転換技術開発施設（PCDF）管理棟駐車場までのアクセス性について
- 資料 5 ガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の浸水防止設備（浸水防止扉）の耐津波補強工事（再処理施設に関する設計及び工事の計画）
- 資料 6 廃溶媒処理技術開発施設の蒸気配管の一部更新について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）
- 資料 7 高放射性廃液貯蔵場（HAW）、ガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外で放射性物質を貯蔵又は取り扱う分離精製工場（MP）等の施設に対する廃止措置段階における安全対策の考え方についての補足説明
- 資料 8 再処理施設の廃止措置計画（安全対策）の変更に伴う保安規定の変更について
- 資料 9 TVFにおける固化処理状況について